



明治日本の産業革命遺産

平成27年の世界遺産登録を目指して
ユネスコの諮問機関が調査

萩反射炉



松下村塾



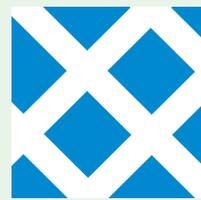
大板山たたら製鉄遺跡



恵美須ヶ鼻造船所跡



萩城下町 (江戸家横丁)



萩市
HAGI

議会だより

No. 34

2014.10.15

編集

議会だより編集委員会

発行

萩市議会

〒758-8555 萩市江向510

TEL0838-25-3144

9月
定例会

25年度一般会計決算審査	2～3
一般質問 (21人が登壇しました)	4～10
補正予算の概要	11
常任委員会報告	12～13

災害復旧・復興に全力投球

～ 財政調整基金から繰入れ～

一般会計決算審査特別委員会

平成26年9月12日と16日の2日間をかけ慎重に審査を行い、採決の結果、賛成多数により認定すべきものと決しました。

予算執行の概要

25年度当初予算は、市長選挙を控えていたことから扶助費などの義務的経費や一般行政経費、投資的事業については、継続事業に限定した骨格予算を編成しました。

317億8300万円でスタートし、市長選挙後政策的経費や臨時的な経費を追加し、市民サービスの向上や経済対策にとって重要な通年予算が整えられました。

その後、7月28日の萩市東部集中豪雨災害の発生に伴い、災害復旧・復興に必要な経費等について、14回もの追加補正が行われました。

その結果、補正後の予算額は、歳入歳出ともに380億1801万4000円となり、24年度からの繰越明許費31億5869万6712円を加えた最終予算額は、411億7671万0712円で、新市施行後最大の予算規模となりました。

新市施行後最大規模の決算額

一方、決算規模では、新清掃工場建設事業・学校施設耐震化事業等や未曾有の災害となった萩市東部集中豪雨災害の復旧・復興事業を行ったことから、歳出が

349億1515万6355円となり、歳入についても、災害に伴い特別交付税が増加したことや、19年度以来となる財政調整基金からの繰り入れを行った結果362億8794万6635円となり、新市施行後最大の決算規模となりました。

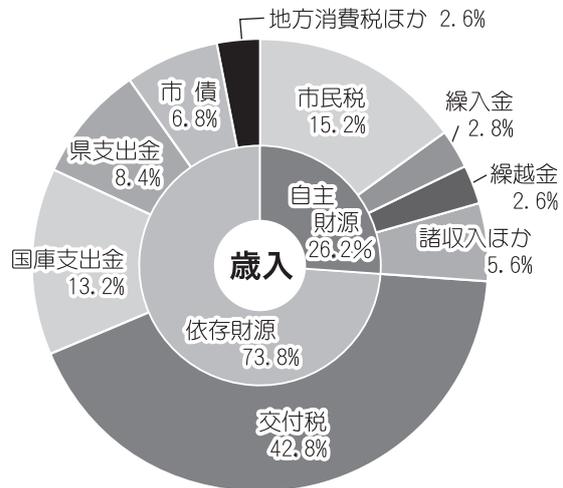
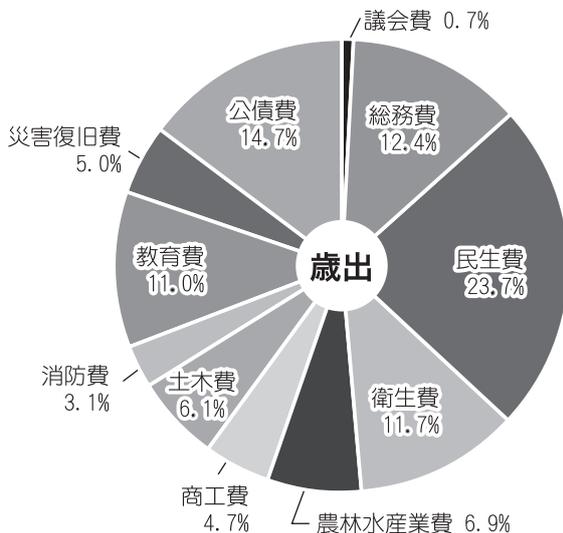
実質単年度収支は赤字

その結果、歳入から歳出を差し引いた収支は、13億7279万0280円となりここから繰越明許費の財源を差し引いた実質収支は4億3846万8062円の黒字となりましたが、財政調整基金の取り崩し等をしなれば、実質単年度収支は、6億8857万1126円の赤字でした。

決算額 一般会計

入	362億8,794万6,635円
出	349億1,515万6,355円
繰越明許費	9億3,432万2,218円
実質収支額	4億3,846万8,062円

平成25年度一般会計決算



活発な意見を交わし全て認定

決算全般について

問 財政力指数は、近隣市町と比較してどうですか。

答 現時点の数値は健全ですが今後10年間で合併算定替だけで150億円近い交付税の減額が見込まれるため樂觀できません。

今後、基金の積み立てや、地方債残高の削減に努めていきます。

歳入について

歳入を確保するという観点から滞納整理の状況や収納率の推移等について質疑を行いました。

問 収入未済となっている各種負担金等の時効はあるのですか。

答 税と同じく5年です。

歳出について

地域見守りネットワーク整備を強化

問 災害時、地域はどのような役割を担うのですか。また、地域の見守り体制が構築されていない地域に、市としてどう対応されるのですか。

答 要支援者名簿を自主防災組織や町内会長・自治会長へ配布する際、日常的な見守りをお願いしています。

また、社会福祉協議会と協力して、町内会福祉部の設置をお願いしています。

災害時要援護資金貸付金申請件数は10件

問 災害時要援護貸付金の貸付条件は、どうなっていますか。

答 住宅の全壊・半壊・家財被害について、貸付けを行います。

また、貸付けについては、内閣府の基準に従い浸水高で決定しています。

問 基準に満たない場合は、どう対応するのですか。

答 公平性を保つためにも、内閣府の基準で対応します。救済できない場合は、個々の事情を聞き、対応して行きます。

夏みかん風景を保存して景観の向上

問 萩夏みかん風景保存事業はどのような内容ですか。

答 かんきつ公園の維持管理や伝建地区の柑きつ管理等を行っています。

道の駅の管理について

問 道の駅等管理事業費について「公益上必要と認められる費用」とありますが、どのようなことに支出したのですか。

答 トイレや駐車場等の維持管理費に支出しています。

道の駅の運営費としては支出していません。

問 道の駅「萩往還」だけ、事業

費が突出していますなぜですか。
答 道の駅「萩往還」には、松陰記念館があり、その維持管理費が含まれているからです。

児童・生徒が安心して教育が受けられる環境づくり

問 就学援助を受けている児童・生徒数の割合は、どのくらいありますか。

答 小・中学校ともに、12%程度です。

未曾有の災害も徐々に復旧・復興

問 被災した公共施設の復旧状況はどうなっていますか。

答 須佐保育園は、工事が着工され今年度中に高台へ移転します。

田万川保育園小川分園と須佐保健センターの復旧は完了、小川児童クラブについては、現在、小学校内に仮設置していますが、今後学校内での開設について協議します。

小川支所については、この度の災害で被災していない土地をかさ上げし、新たな施設を27年度の竣工を目指し工事を始めます。

また、学校施設については、全て復旧が完了しました。

なお、須佐歴史民俗資料館は、27年2月までには、復旧完了となる予定です。

経済活性化支援事業

問 本来の目的である企業誘致活動推進のための市内民間遊休地の情報収集等は十分にできましたか。

答 情報収集・集積は作業的に難しく、レポートでの事業報告となっています。

問 講演会を開催していますが、本来の事業目的に沿うものですか。

答 雇用対策事業としての側面から、雇用継続はされており、その意味では事業目的は達成できたと考えます。

決算審査を通して

萩市東部集中豪雨災害は、まさに未曾有の災害となりました。この災害の復旧・復興のため当初予定していた多くの事業を停止し、多額の予算と多くの人員を捻出した一方、市民サービスの維持・向上に取り組みされたことは評価できます。

本格的な災害の復旧・復興は、これからです。今回の委員会でも出された委員からの意見に十分留意され、限られた予算の中、より効果的な財政運営を行っていただくことを期待します。



一般質問

9月8日から11日まで21人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



佐々木 公恵
(公明党)

認知症早期発見の取り組みと医療機関との連携について

【問】認知症は何らかの原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなる事で障がいが起こり生活に支障が出ている状態をいいます。

認知症の初期症状は、物忘れが始まる事が多く、85歳以上では4人に1人は、その症状があると言われています。自分が認知症と認めたくないため病院を受診しないケースもあります。放置は症状の悪化につながります。

認知機能の低下を調べる「認知症の気づきチェックリスト」を市報に掲載し、自分や家族が簡単かつ手軽にチェックする事で、早期発見に繋がれるのではないのでしょうか。この結果は、おおよその目安なので、認知症の診断には医療機関の受診が必要となります。

市での認知症の早期発見の取り組みと、早期診断を行う医療機関との連携についてお伺いします。

【答】市では、65歳以上の要支援・要介護認定者以外の方に基本チェックリストを送付して、認知症の早期発見と理解の向上に努めています。未回答の方については、個別訪問し対応しています。また、基本チェックリストの市報への掲載については、現在国内で基本チェックリストの実施方法の変更が検討されていますので、この結果を待って対応を考えていきます。



佐々木 武夫
(公明党)

大井の残土処理場に対する市の対応について

【問】市と地元住民の覚書には「残土処理建設に起因する被害については全面的に萩市が責任をもつて解決にあたる」とあります。水質汚染や赤い濁流が入る田は、今も稲が思うように出来ないなどの被害報告もあります。また、昨今の土砂災害への不安もあることから、相崎住民連名の要望書も提出されています。

そこで、具体的に今後どうされるのか、工事のあり方など、安全性に関して、住民の不安を取り除く話し合いも必要なのではないでしょうか、お尋ねします。

【答】平成3年の覚書の要望事項については、9年度に全ての対応が完了したと認識しています。

また、残土処理場に起因する水質汚濁や田への土砂流入が発生した場合、確実な対応と安全性を確保した工事の実施について萩広域開発に再度申し入れを行います。

今後、地区住民の皆さんからの新たな要望事項については、誠実に対応していきます。



大井残土処理場（下流に相崎部落がある）

《その他の質問項目》
・萩市の低炭素社会に向けての推進について



宮内 欣二
(日本共産党)

田万川、上組の橋を架ける方法はないのか

【問】6月議会でも田万川、上組の流された橋は「2世帯3人、1人は90歳」「費用対効果」で現地では架橋しないとの答弁でした。75年に県工事の付帯工事として、地元の人たちが240万円の分担金を出して施工されました。92年9月定例議会では、町長が町道になる橋を架けると明言しています。93年6月議会には住民請願が出され、12月議会に全員の賛成で採択されました。今も生きています。落橋には施工の瑕疵があつた可能性が指摘されています。これらを考慮し、何とか架ける方法はありませんか。

【答】旧町議会での町長答弁では、橋梁の設置は設置場所の一本化が大前提とされ、その地元合意がないまま、昨年の災害により2橋が流失したものと理解しています。当時と現在では交通状況等も変わっています。財政上の問題・将来の利便性等の観点から最善の策として、現在の吉ヶ原橋を2車線の橋梁として約200m下流に整備するとともに、接続する林道及び市道の改良を行い生活路線と位置づけることで、ご理解をいただきたいと思えます。



流出した橋

《その他の質問項目》
・進出協定を結んだDIOジャパンとSEガーデン萩の業務委託の実態について
・福川簡易水道と紫福簡易水道の統合について
・JR山陰線の高速化を進める考えはないか



老老介護支援について

石飛 孝道
(新志政和会)

【問】今までは、親の介護をするのは、当たり前と言われていた時代もありましたが、核家族化が進む中、若い人達は共働きであったり市外に住居を構えるなど、親の介護をすることが、大変難しい環境になりつつあります。そのため、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」が増えている今日です。萩市においても平成26年7月末現在で、人口5万1854人の中で65歳以上の方が、1万9400人もおられます。今後、高齢者の方が年々増加する中介護保険がより良いものへと見直され、老老介護に対して、十分なサービスが受けられ、誰もが、住み慣れた地域や住まいで、安心して過ごせる環境が望まれます。そこで、老老介護に対するサービスについて、今後市の取り組みをお尋ねします。

【答】東西の地域包括支援センターと16ヶ所の在宅介護支援センターを設置し、介護等に関する相談に対応するとともに、地域包括支援センターに高齢者支援相談員を配置し、相談しやすい環境づくりに努めています。また、社会福祉協議会では介護方法の研修や介護者同士の交流会、そして仲間づくりや出会うの場として、ふれあいいきいきサロンを開催するなど、介護されている家族の方々に支援してまいります。超高齢社会の中で工夫をしながら対応してまいります。

《その他の質問項目》

・安心して暮らせる地域環境整備について



市における人口減少問題の対策と基本構想・将来展望について

森田 哲弘
(過疎問題を考える会)

【問】市では、これから先10年間の基本構想と、将来展望の策定をされると聞いています。これから先の10年間は、人口減少がいつきに進むと予測されます。このまま対策を打たないと衰退するばかりです。そこで、旧町村・三見・大井・島しょ部に、安価な宅地開発と市営住宅を建設されませんか。それくらい思い切った対策を打たないと、人口減少に歯止めがかかりません。教育にも力を入れて「あの学校に通わせてみたい」と思わせる、魅力ある学校にしなければいけません。また、第三セクターや公共施設などで、マネジメントに優れた民間の人材が要求されます。国も地方創生相を新設し、地方に力を注いでいきます。これからの市にとっては、プラスになります。是非、地方創生の中身を研究して基本構想に盛り込みませんか。

【答】人口減少問題は地方共通の課題です。国においても内閣総理大臣を本部長とした対策本部で具体的な政策決定を行おうとしています。長期的に見通すことが難しい時代ですので、新しい将来展望は問題点を絞った5年程度の計画にしたいと考えています。その中で人口減少問題についても、国の地方創生施策を踏まえ、様々なご意見をいただきながら、具体的な施策に裏づけされた実効性のある計画としてまとめていきたいと思えます。

《その他の質問項目》

・防災・災害対策のための車両集積所の確保について



農業の6次産業化について

平田 啓一
(新友会)

【問】国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂版を発表しました。この中で農業の6次産業化の積極的な推進を掲げています。山口県では、26年度の新規事業で「やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業」を行っています。これからの市の農業振興にとつては、6次産業化は大変重要なことだと思います。農業者や農業法人が取り組める6次産業を創造していく必要があります。市の取り組みについてお尋ねします。

【答】現在、各地域で女性グループ等が道の駅を活用し生産物加工販売をされています。これもひとつの6次産業化と考えています。収益を上げる事業として次世代へ継承できることを期待しています。山口県は6次産業化を重要な施策として位置づけ、萩・阿武地域6次産業化推進会議を設置しています。今後、法人をはじめ生産・加工・流通業者が一体となり、県の事業認定を受けて取り組まれる場合は市としても可能な支援をしていきます。

《その他の質問項目》

・下水道行政について





観光客の利便性向上のために2次・3次交通対策を

関 伸久 (過疎問題を考える会)

【問】 来年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放送、そして世界遺産の登録を皮切りに2018年の明治維新150周年にかけて、ここ萩市は観光のゴールデンイヤーを迎えます。萩市を訪れる観光客は大幅に増加する見込みですが、観光地「萩」の最大の弱点はJR新山口駅・山口宇部空港からのアクセスの悪さにあります。この2次交通対策を求めます。具体的には新山口駅から無料のシャトルバスを運行できませぬか。すでに防長交通に対し毎年度1億円弱の予算を投じ路線バスを維持しており、同区間も含まれています。防長交通と条件を詰め対応を検討すべきです。併せて3次交通対策として大河ドラマ館と松陰神社・萩反射炉等をダイレクトに結ぶシャトルバスを導入できませぬか。これは有料でも二ツズがあると思われませぬ。

【答】 JR新山口駅から萩までの交通アクセスを改善するため、現在、萩・小郡高規格道路を利用したバス路線の新設をバス会社と協議しており、山口県にも支援をお願いしているところだ。バスの無料化については、財政上の問題もあり難しい状況だ。また、大河ドラマ館を市内観光の起点と位置づけ、まあるいバスの停車、市内定期観光バス及び観光地周遊タクシーの運行について事業者と協議をしている。

《その他の質問項目》

・道の駅萩往還の駐車場を増設できないか



人口減少を防ぐための出産・育児・子育て支援について

原 晶雄 (過疎問題を考える会)

【問】 市の人口減少を防ぐために、安価な土地を提供することを6月議会で私たち党派のメンバーが提案しました。この件は希望者があるかどうかを調査中だ。

最近、須佐地域で今年度の出生数が1人ではないかという驚くような情報があり、調べてみますと3人であることが分かりました。田万川地域も同じような状況のようで、若い人たちは子どもを産むことに慎重になっていると思われる、少子化は予想以上に進むと考えます。

そこで子育てに一層の支援をすることが求められます。資金面では出産祝金・子どもの医療費や保育料・給食費などの支援を拡充し、情報面では、子育て支援制度などの情報発信を充実させる考えがないかお尋ねします。

【答】 市では、乳幼児医療費助成制度、児童手当支給事業、就学援助制度のほか保育料を県内他市と比較しても低い設定とするなど、子育て世帯に対し様々な支援を行っています。少子化の状況は厳しいものですが、現在実施している支援策や財政上の問題を整理したうえで、制度の拡充等を含め検討していきたいと思ひます。

《その他の質問項目》

・防災について



地域自主防災組織の確立について

長岡 肇太郎 (新友会)

【問】 近年、各地で毎年大きな災害が起き、甚大な被害が発生しています。自助・共助・公助の役割が求められています。災害から身を守る「自助」が基本であると言われていて、離島での災害を想定した時、核となるのは、地域自主防災組織です。災害の経験・教訓を基に離島における自主防災組織は消防団を中心に早期に構成し、防災意識の向上、避難訓練などを計画的に推進することが必要です。自主防災組織の確立について、市長の考えをお尋ねします。

【答】 島しょ部では、津波や豪雨等の災害時に本土の常備消防などの外部からの支援を受けにくいことや、市職員の常駐人数が限られるなど特殊な状況にあります。昨年12月施行の消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（消防団新法）の趣旨を踏まえ、島しょ部の特性にも配慮し、従来の火災対策に加え津波等の災害対策についても、消防団を核として地域住民や自主防災組織との連携を進めていきます。



避難訓練の様子

《その他の質問項目》

・セミナーハウスの利用要件等の緩和について



花燃ゆにおもてなし
に余念なく

大村 越夫
(無所属)

【問】「花燃ゆ」の口ケも終わり、配役もきまり、順調に進んでいるようにみえます。果たしてどうか。八月、道迫学芸員の話聞きに行きました。彼はおもてなしに注力してほしいと懇請されました。文さん、久子さん、楢取さん、そして久坂さんについて話の引き出しをいくつかもっておきましょう。みんなで努力して、来秋されるお客さまに、満足いただけるようにがんばりましょう。文さんについて、資料が少ないのですが、本当に資料がないのでしょうか。久坂さんが文さんに出した手紙はたくさんあるようです。それだけでも、文さんの人柄がしのばれるのではないのでしょうか。いずれにせよ、気持ちを収斂させて花燃ゆをもりあげていきましょ。市の対応についてお尋ねします。

【答】大河ドラマプロジェクト推進協議会の公式ホームページや観光課公式フェイスブック・ツイッター・市報等を活用して、広く内外に情報発信していきます。また、主人公「文」の理解を深めるために、「文と萩物語」記念誌を発行したほか、10月には久坂玄瑞、楢取素彦に関する「萩ものがたり」を発行します。さらに、市民講座の開催や市報で「文と萩物語」の情報を連載するなど、広く市民等へ情報発信を行い、花燃ゆを盛り上げていきます。

《その他の質問項目》
・旧明倫小学校舎の活用について



(株)DIOジャパン・
SEガーデン萩につ
いて

大久 勲
(新友会)

【問】①DIO社関連会社の事業所閉鎖等の問題が6月頃から話題になり、研修生は大変な不安があったはず。市は説明不足では無かったのでしょうか。

②SE社の社長、中田氏が東京で経営しているIT企業の実態を把握していますか。

③長時間労働など職場環境が問題になる場合があります。SE社で継続雇用される場合の雇用形態が直接雇用なのか、派遣・仲介・請負になるのかも含め今後ウオッチして行く考えはありますか。

【答】①6月の新聞報道等を受け、社員・研修生に対して経緯、今後の対応について説明しています。

②東京でインターネット広告代理店業務等の事業を展開している会社で、従業員数13人、売上高8500万円等の事業内容を把握しています。

③当初の計画通り、円滑に事業展開しており、雇用についても継続していく計画です。経営状況についても、毎月定期監査を行っており問題はありません。今後、事業が継続実施できるよう支援をしていきます。

【補DIOジャパンについて】市と年初に進出協定を結び、関連会社SEガーデン萩を設立し、国の雇用関連補助金1億8000万円により約40名の研修生を受け入れ、1年間プログラマーなどIT技術者を養成、2015年2月以降も継続雇用する予定でした。

《その他の質問項目》
・長州ファイブジュニア英国語学研修について



ドラマ館閉館後の利
用と活用について

波多野 勝
(新友会)

【問】来年1月からNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が始まります。その大河ドラマを題材にしたドラマ館が、平成27年1月11日から28年1月10日まで旧明倫小学校の体育館で開館します。そのために旧明倫小学校のグラウンドを一部舗装して、駐車場として利用します。その出入口になる図書館前の道路を今、拡張しています。当初予算と補正予算を併せて約2億8000万円余りが大河ドラマ推進事業費となっていますが、そのことに対しては色々な意見があります。しかし、観光事業は、萩市の基幹産業であり必要な事業と考えています。ただ明倫小学校の校舎に隣接している駐車場は、騒音などで児童に影響が出るのではないかと心配しています。閉館後の体育館と駐車場の活用方法をお聞きます。

【答】体育館のある場所には、藩校明倫館の最も中心的な施設である孔子廟がありました。大河ドラマ館閉館後は、南門から水練池にかけて出来るだけ速やかに、これら施設の復元を進めたいと考えています。駐車場は一過性のもではなく、旧明倫小学校の校舎4棟を観光の拠点等として活用する際も駐車場として利用します。新明倫小学校の敷地側は桜等を植栽し緑地を整備します。また、バスは校舎と離れた南側に駐車させるなど、教育環境にも配慮します。

《その他の質問項目》
・「空き家バンク」の活用補助制度について



塗装が剥がれ見苦しいガードレール等の早期補修を

西中 忍
(過疎問題を考える会)

【問】市内のガードレール等は、景観を保全するという目的で、これまでの白や黄色からダークブラウンに変更されています。新たに設置されるものは良いのですが、既存物に塗装されているものの中には、塗装が剥がれたり変色してたりするものがあり、景観の保全を目的に行われたこの塗装が、結果的に景観を損ねる状況になっていきます。塗装したものは必ず剥がれるので、定期的に補修しなければいけないと思いますが、この色が剥がれたり変色しているガードレール等の補修をどのように進めていくのかお尋ねします。

【答】山口県内のガードレールは、かつて夏ミカン色となっていました。景観上、城下町萩に相応しくないということで、平成8年度から国・県の各道路管理者へ都市景観上の配慮を依頼し、現在多く見られるダークブラウンとなっています。しかしながら、塗装されたガードレールは施工から10年以上経過し、塗装が剥がれたものもあります。これから総点検を行い計画的に補修するとともに、国・県に対して補修をお願いしていきます。



塗装のはがれたガードレール

《その他の質問項目》
・市外からの移住者受入れの促進と地域経済の活性化策について



地方創生・地域活性化及び少子化について

守 永 忠 世
(無所属)

【問】日本の総人口が減少し、地方の人口が減少する大きな原因として、子どもを産み育てる費用が莫大なものであることや、若者の雇用環境の悪化があげられると思います。そこで必要な少子化対策のポイントは、若者の雇用環境を改善すること、女性が働き続けることが出来るよう支援・対策を行うことです。国の政策交付金等を最大限に活用して、地域の活性化につながる対策の強化こそが急務だと思います。市としての今後の対応について、どう取り組まれるかお尋ねします。

【答】24時間保育の実施や保育料の徴収基準を県内でも2番目に低く設定するなど、萩市は極めて保育関係に重点を置いていきます。また、育児休暇や短時間勤務制度の導入など、企業においても雇用環境の改善に取り組まれるよう、市役所も率先して取り組んでいきます。このようなことも含め、国の「まち・ひと・しごと創生本部」とともに、限られた財源を人口減少に対する施策にどう割り振るか、今から念查していきます。



《その他の質問項目》
・有害鳥獣捕獲肉の安全性について



市職員の退職に伴う再就職先の公表・公募について

諸 岡 皓 二
(無所属)

【問】市職員の退職に伴う再就職について、市民から疑問視する声が出ています。市職員の退職金は、民間と比較して高額であると言ったのが、一般的な見方です。市の関連機関へ優先的に再就職しているのは、優遇されすぎではないかということです。「高額な退職金をもらって退職したら、一市民だ。なぜ我々の税金で再雇用を認めるのか、シルバー人材センターに登録して仕事を探せば良いではないか」また「天下りではないか」と言われる市民の声も多聞きます。一般市民は、就職もまならない状況下で、生活苦と戦っており、市民の不満が市への不信につながります。出来れば再就職先の公表と公募という形態に変え、市民の不信を招かないように努めるべきです。「若者の雇用を阻害している」との声もあります。

【答】平成17年以降の退職者200人のうち再就職者は23人で全体の約一割です。再就職先にはいろいろな職種があり、例えば萩公共サービスでは臨時職員として草刈や施設の管理等を行っています。また観光協会や萩八景遊覧船からは、市と連携するため職員の派遣要請があります。年金の支給開始年齢が引上げられ、退職者も何か仕事をしていかなければならない状況になっていますので、天下りとは違う形で対応しているところです。

《その他の質問項目》
・人口対策について
・観光行政について



ごみの戸別収集サービス
の提供について

五十嵐 仁美
(日本共産党)

【問】現在、ごみの戸別収集は、燃やせるごみのみ川内を中心に一部で実施されています。しかし、高齢者や、足・腰が悪く歩行困難な方は、ごみステーションまでごみを出すのに苦労されています。車の少ない早朝にヘッドランプを付けて、一輪車でごみ出しをしていらつしやる姿は痛々しいものです。宇部市では、65歳以上の高齢者や障がい者の方から要望があれば、玄関先でのごみの収集を実施しています。市でも是非、宇部市のようなサービスを提供できないかお尋ねします。

【答】ごみ出しが困難な高齢者への支援は、各地域で工夫され実施しています。旭地域、江向3区では町内会・自治会が日常生活支援事業として実施しています。また、むつみ地域では、むつみ元気支援隊がごみ出し等の支援を有償で行っています。隣近所等の相互扶助で実施されている地区もあり、各地域で状況が違います。ごみ出しが困難な方が増えていきますので、実情を十分調査し、高齢者の生活支援を考えていきたいと思えます。



ゴミステーション

- 《その他の質問項目》
- ・東萩駅とその周辺の活性化について
 - ・高齢者の働く場について



新堀川を甦らせることはできないか

小池 太一
(新友会)

【問】城下町を観光・散策される方々は、主に中央公園の駐車場に車をとめられ、新堀川に架かる「慶安橋」を渡り城下町に入って来られます。この橋は元禄11年、新堀川の開削とともに初めて架けられたと聞いております。橋を渡られる方々は、流れもななく濁り、水面のペットボトルやヘドロなどを見ると大変興ざめするものです。当時は外堀から唐樋まで現在は平安古から浜崎松本川までつながっています。潮の干満の時以外は流れがありません。市が中心になり市民の皆さんにも「川をきれいに」という認識を持って頂き、新堀川を甦らせる事はできないでしょうか。美観・景観の立場から必要と思われるか。

【答】新堀川は、三面張り水路で以前は汚い状況でした。現在は水洗化が進み、透明度が高まり水鳥が来るようになっていますが、時々ごみが浮いている状況が散見されます。これまでも試行的に、竹炭やEM菌等で浄化の実験を行いました。なかなか成果は得られませんでした。現在、堀内雨水ポンプ場の改修計画があり、その工事終了後、水路の改修について考えていこうと思っています。当面は浚渫と清掃で川をきれいにしていこうと思えます。



新堀川



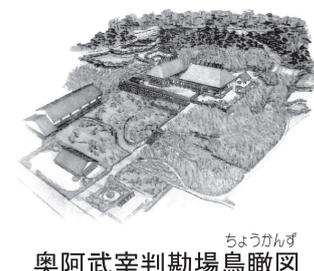
「奥阿武宰相勘場(代官所)」の復元について

中野 伸
(新生会)

【問】「奥阿武宰相勘場(代官所)」は幕藩体制下における、萩藩の支配行政組織の一つとして創設された施設です。県下に18宰相ある勘場跡で、現在、なお精巧に組み上げられた高さ5mを越える堅牢で美しい石垣は珍しいものです。また、江戸中期の毛利家文庫所蔵の「奥阿武宰相勘場差図」に基づいて、建物等の復元図を完成するなど「奥阿武宰相勘場跡保存整備計画策定報告書」が2冊にまとめられるなど、国・県の専門家も貴重な歴史的遺産と言われています。そして、萩・津和野を結び、観光道路の中間地点に位置し好条件です。過去の答弁の経緯を踏まえ、早期に着手されませんか。

【答】むつみ地域の奥阿武宰相勘場跡の復元については、基本的に変更はありませんが、世界遺産登録関連、萩城跡石垣保存修理及び大照院保存修理など多くの事業に取り組んでおり、市内4ヶ所の伝統的建造物群保存地区の整備も遅れていることから、事業の実施にあたっては優先順位を考慮せざるを得ない状況です。財政手法等の検討を行い、今後も復元に向け努力していききたいと思えます。当面は、維持管理・保護に努めていきます。

- 《その他の質問項目》
- ・個人情報保護について



奥阿武宰相勘場鳥瞰図



きれいなまちづくり
の推進について

齊藤 眞治
(新生会)

【問】新たな観光資源として、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」や世界遺産登録など、観光客の増加が見込まれます。そこで、公道(国道・県道・市道)の雑草、各河川内の中州・寄州、公道の舗装について市長のご見解をお尋ねします。

(1)公道の雑草の除去及び、各河川内の中州・寄州の浚渫をどう考えていますか。

(2)「おもてなしの推奨」として、各町内会等や各事業所に、居住地域や各事業所前の草取りの依頼など、新たなボランティアの募集。併せて、担当課内に雇用対策として、草刈班の設置など予算の確保は考えられますか。

(3)「きれいなまち萩」を目指し、道路補修の予算増額は考えられませんか。萩市が増額すること、国・県管理道の補修を強く要請できますか。

【答】(1)主要幹線道路の国・県道は、限られた予算の中で維持管理がされています。河川の浚渫は優先順位をつけて順次対応します。

(2)多くのボランティア団体、企業等に「おまかせいど」に登録をいただき、地域の清掃活動に協力いただいています。特に「きれいなまち・萩推進市民会議」は月2回清掃活動を実施されています。

(3)路面の舗装についても、優先順位をつけて順次対応したいと思います。

《その他の質問項目》
・福祉行政について(聴覚障がい者との共生対策)



防災行政無線の設置
について進捗状況を
聞く

美原 喜大
(新友会)

【問】合併協定では「防災行政無線・オフトーク通信については、当分の間(5年以内)現行通りとする。但し、設備使用料は無料」とあります。昨年の災害までは、無線を不要と考えていた方々が、被災後、無線の設置を申請している件数が多くなっています。しかし、田万川の例をとると、設置したいが在庫がないということ、設置ができない状況となっています。緊急時の無線は命にかかわることであり、合併協議の尊重と一体感の醸成を促進するためにも、このような状況への対応と設置負担金の統一を早急に対応すべきです。また、設置順についても必要不可欠なところからと配慮すべきですがいかがですか。

【答】防災行政無線戸別受信機は、老朽化や昨年の災害により使用困難(浸水・流失)となったものが見られ、地域により状況が違います。防災行政無線整備地域(萩及び旭地域以外)で稼働状況等についてアンケート調査を実施したうえで、使用できないものについては、希望によりラジオとしても使用できる防災受信機への切り替えを検討しています。地域で異なっている加入者負担金については、金額や負担方法等を検討し、統一したいと思います。

《その他の質問項目》
・ジオパーク推進について
・災害復旧について
・市民交流について



現在、田万川で使用されている
防災行政無線



コミュニティ・スクール
について

松尾 義人
(新生会)

【問】コミュニティ・スクールには「学校運営協議会」が設置され、学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域のコミュニティづくりを進めていくことがコミュニティ・スクールの一番のねらいです。コミュニティ・スクールの成果と課題を含め、今後の構想について尋ねます。

【答】市内の小中学校の約6割をコミュニティ・スクールに指定しており、平成28年度には100%の設置率になります。家庭・地域が子どもの育成に主体的に関わり、子ども達が地域で学び活動することで、地域が元気になるという良い循環が生まれています。一方、コミュニティ・スクールへの認識が十分でなく保護者や地域の方々の参画意識を高めていく必要があります。今後もコミュニティ・スクールを推進し子ども達を健やかに育てる仕組みづくりを一層充実していきます。



学校運営協議会

《その他の質問項目》
・鳥獣被害の現況について

平成26年度9月補正予算(第2号)の概要

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
第1号	36,718,436	151,683	36,870,119

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【企画費】	◎ふるさと寄附推進事業 市内の篤志家からの寄附を「あなたのふるさと萩応援基金」に積立てます。	26,000
【旧萩藩校明倫館活用推進費】	◎旧萩藩校明倫館活用推進事業 下関在住の方からの幕末歴史コレクションの寄附を受け入れ利活用するため、旧明倫小学校校舎での展示公開に向けて、展示スペースの基本設計やコレクションの調査費用などを計上するものです。	28,000
【ジオパーク推進費】	◎ジオパーク推進事業 平成28年度の日本ジオパーク認定を目指し、市民と共にジオパーク構想を推進するため、必要な経費を計上するものです。 ○ジオパーク推進に係る視察及び事務経費、ネットワーク加盟負担金等	2,651
【生活保護総務費】	◎生活保護電算システム改修事業 社会保障・税番号制度の導入に伴い、必要となる生活保護電算システムの改修に係る経費を計上するものです。	1,782
【予防費】	◎<新規>予防接種事業(水痘) 予防接種法施行令の改正に伴い、水痘が定期の予防接種の対象疾病となったことから必要な経費を計上するものです。 ○対象：生後12ヶ月～36ヶ月の者。26年10月1日から実施。 ◎<新規>高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業 予防接種法施行令の改正に伴い、高齢者肺炎球菌感染症が定期の予防接種の対象疾病となったことから、必要な経費を計上するものです。 ○対象：65歳の者ほか	14,939
【商工業振興費】	◎萩諸島産業振興事業 離島(見島・大島・相島)の特生を生かした産業の振興を図るため、戦略産品を本土へ移出する団体に対し、輸送費の一部を支援するものです。 実施主体：あぶらんど萩農業協同組合、山口県漁業協同組合 ○対象戦略産品：米・野菜類・イモ類・魚介類	10,224
【観光振興費】	◎萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金事業 東京利用者の目標達成に向けて、利用促進対策を充実させる事業を展開していくため、萩・石見空港利用拡大促進協議会に追加負担金を計上するものです。	3,552
【観光振興施設費】	◎<新規>はぎ温泉揚配湯施設管理事業 はぎ温泉揚配湯施設の指定管理者である「はぎ温泉配湯協同組合」が7月末で組合員であった市内のホテルが休業したため、利用料金等の収入が減少し、施設の運営に支障が出ることから指定管理料を調整するものです。 ◎<新規>萩阿武川温泉設備調査事業 川上地域の萩阿武川温泉において湧出量が年々減少し、湧出量の改善を図るため、揚湯管内部等の調査を実施するものです。	928
【小学校建設費】	◎<新規>福栄地域小学校整備事業 福栄地域の紫福小学校と福川小学校を統合し、福栄中学校との併設による新校舎を整備するため実施設計等を行うものです。 なお、統合時期は平成28年4月の予定です。 ○事業内容：実施設計業務・設備設計業務・地質調査業務	1,728
【文化財保護費】	◎<新規>花江茶亭屋根修理事業 指月公園内にある市指定文化財「花江茶亭」の茅葺及び杉皮葺屋根が著しく腐朽・破損していることから早期に保存修理を行うため、必要な経費を計上するものです。	33,802
		6,507

総務委員会

旧明倫小学校校舎を利活用

～幕末歴史コレクションを受け入れ・展示へ～

常任委員会の審査の概要をお知らせします

総務委員会には、平成26年度萩市一般会計補正予算(第2号)を含む議案5件が付託され、審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

○平成26年度萩市一般会計補正予算(第2号)について

今回の補正予算額は、1億5168万円で、市勢の発展及び市民の生活を守ることを主眼に行われる事業です。

「旧萩藩校明倫館活用推進事業」について

問 下関市在住の方が所有する幕末歴史コレクションの寄附受け入れですが、なぜ萩市なのか。

答 萩博物館でのコレクション展示等で予てからご縁があり、今般、ご本人の希望で萩市への寄附となったものです。

問 コレクションの価値等については、どうですか。

答 時価評価などは行わず今後、台帳を作成し、学術的な調査を行っていく予定です。



展示が予定されている旧明倫小学校校舎と寄附を受けたコレクション

問 保管場所はどうしますか。またコレクションの管理にも留意する必要があります。

答 下関市から順次、萩博物館に移送し、保管します。展示の際は、外光遮断を施

し、展示ケースも設けます。旧明倫小学校の利活用全体計画が明らかになっていない中で、その場しのぎの利活用にはなりません。

答 基本方針では、校舎の

一部を展示スペースとして活用する案も示されており今回はそれに沿って利活用を行うものです。

問 老朽度調査はどうですか。

答 昭和10年の建物ながらこれまで学校施設として適切な管理がされてきました。床下の状態もよく、白アリもないことから、利活用は可能と判断しています。

「予防接種事業(水痘)」

「高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業」について

問 それぞれの対象者を説明してください。

答 水痘は生後12ヶ月から生後36ヶ月まで、肺炎球菌は65歳の方が対象ですが、年度によっては65歳以上の方も対象になります。

問 水痘は個人負担がないものの、肺炎球菌は個人負担額が1回2700円です。この違いはなぜですか。

答 水痘は集団的予防、肺炎球菌は個人予防という考え方で。

問 それぞれの周知はどう

しますか。

答 印刷物を対象者すべてに配布する予定です。医療機関むけの説明会も実施します。

「萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金事業」について

問 26年度の東京便利利用者の目標数12万人に届かないことから、追加負担を行うものですが、直近の利用者数を教えてください。

答 平成26年8月末時点で約4万4000人です。昨年より25%増となっています。

問 昨年の利用実績はどうですか。

答 昨年は約7万4000人です。

問 過去12万人を超えた年はありませんか。

答 平成9年と平成10年で

目標に達しなければ追加負担がありますか。

答 その場合は地元とANAで負担することになります。

教育民生委員会

子ども・子育て支援新制度がスタート

教育民生委員会には、平成26年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）を含む議案12件が付託され、審査の結果、すべて認定・可決すべきものと決しました。

審査の主な内容は次の通りです。

○平成26年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について

問 国民健康保険基金積立金の累計額はいくらですか。
答 約3億8000万円と なっています。

○萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

問 これは具体的にどのような条例ですか。

答 27年4月1日から始まる「子ども・子育て支援新制度」において、認定こども園等の事業を行う事業者の細則を定めたものです。

問 認定こども園に移行了した場合の保育料の手続きはどうなりますか。

答 今後、国が定める基準を上限として、実施主体である市が利用者負担を定めることとなります。



けることとなるなど変更点はあるものの、手続的には現行の制度と比べ、特段の差異はありません。

問 3つの区分とはなんですか。

答 「認定こども園」「幼稚園」「保育所」「小規模保育等」の教育・保育を利用する子どもについて、3つの認定区分が設けられ、事業所には、この区分に基づいて給付等が行われるものです。

具体的には、1号認定子どもは、満3歳以上の小学校就学前の子どもであって2号認定子ども以外のお子さんで、利用施設が幼稚園となるものです。2号認定

子どもは、満3歳以上で、家庭において必要な保育を受けることが困難なお子さんで、利用施設が原則保育所となるものです。3号認定子どもは、満3歳未満で家庭において必要な保育を受けることが困難なお子さんで、利用施設が原則保育所となるものです。

認定区分	利用施設	家庭分類	
1号認定子ども	幼稚園 認定こども園	満3歳以上児で、家庭において必要な保育を受けることが可能なもの	
2号認定子ども	保育所 認定こども園	満3歳以上児で、家庭において必要な保育を受けることが困難なもの	さらに就労時間準時間利用(11時間)」「短時間利用(8時間)」に分類
3号認定子ども	保育所 認定こども園 小規模保育園	満3歳未満児で、家庭において必要な保育を受けることが困難なもの	

経済建設委員会

災害被災地の下水道全面復旧

経済建設委員会には、平成25年度萩市簡易水道事業特別会計決算認定を含む議案11件が付託され、審査の結果、すべて認定・可決すべきものと決しました。

審査の主な内容は次の通りです。

○萩市簡易水道事業特別会計決算認定について

問 今後の紫福地区の水量確保は十分ですか。

答 福井地区の飲料水確保のため、25年度は実態調査と基本計画等の策定を行っており、26年度は詳細設計、27・28年度で工事を実施する予定ですが、この事業を行っても紫福地区の水量は十分に確保できる見込みです。

○萩市農業集落排水事業特別会計決算認定について

問 萩市東部集中豪雨で被害があった下水道関連施設の復旧状況はいかがですか。市民生活に支障が出ていませんか。

答 むつみ地域及び田万川地域農業集落排水等の災害復旧工事については全て完了しており、通常の処理を行っています。

また、同災害に関連し、須佐地域の特定環境保全公共下水道施設等にも甚大な被害がありましたが、復旧は完了しており、市民生活には特段の支障はありません。

萩市議会初の委員会提出議案を可決

9月定例会に提出された、議員提出議案2件と委員会提出議案1件について、その内容をお知らせします。

○議員提出議案第1号

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

現状の助成制度では、肝硬変・肝がんへ進行した患者は高額な医療費を負担せざるを得ず、生活に困窮していることや、障害認定の基準が極めて厳しいことから、新たな制度を創設し、ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成の拡充を図ることと、身体障害者手帳の認定基準を緩和し、実態に応じた認定制度にすることを国に求めるものです。

○議員提出議案第2号

「手話言語法」制定を求める意見書

平成18年国連総会で採択された「障害者の権利に関する条約」において、手話が言語として国際的に認知され、我が国においても、この条約を批准し発効していることから、手話が音声言語と同じ言語だという事を、広く国民に広めるとともに、聞こえない子どもが手話を身に付け、手話で学べ、手話を自由に使えるため、手話を言語として普及・研究する事のできる環境を整備することが必要であることから「手話言語法」制定を国に求めるものです。

○委員会提出議案第1号

山陰道（益田～萩間）の早期整備促進に関する要望決議

この要望決議は、主要道路整備促進調査特別委員会が、独自に提出した要望決議で、委員会として議案を提出することは、萩市議会ですべて初めての事です。

山陰道は、島根・鳥取両県では、順調に整備が進んでいますが、島根県益田市と山口県萩市の間は、未だに整備計画は示されていない状況です。

益田～萩間の基幹道路は、国道191号のみで、この国道も、線形不良箇所や法面崩壊の危険箇所があり、交通事故や大雨などで通行止めになることが多発していることや、災害時のリスク分散と代替え機能の確保という観点から、災害に強い道路ネットワークが必要なため、山陰道（益田～萩間）の新規事業化を早期に実現することを国に求めるものです。

それぞれの議案については、本会議で審査した結果、全会一致で可決しました。

議会改革進行中

6月定例会で議長の諮問を受け設置された「議会の構成・運営に関する研究会」の活動状況をお知らせします。

議会構成分科会

当分科会では、①議員定数②常任委員会の構成③議員報酬について、来年6月を目前に、報告書の作成を目指しています。

6月12日の第1回分科会から第5回分科会までの議論は、議員定数に関する各委員の考え方（削減・現状維持・定数増・現段階では決めかねている）等について、文書による意思表示を求め、各委員の考え方への質疑応答を行いました。議員定数については、今年の12月議会を目途に、分科会報告書の作成を目指し、議論を深めていきます。

議会運営分科会

6月に行った第1回分科会から、現在までの活動状況は、毎月1回の会合を行い、委員より提案された以下のテーマについて議論しました。

- ・常任委員会の任期等について
- ・政務活動費について
- ・一般質問について

今後は「萩市議会として目指す理想」をテーマに、あるべき萩市議会の姿について議論を深めることとしており、来年の12月までに結論を出すことを目標としています。

討論

議案第80号 平成25年度萩市一般会計決算認定について

平成25年度の萩市一般会計は、7月28日に発生した萩市東部集中豪雨は、須佐・田万川・むつみ地域に、未曾有の災害をもたらしました。

この大災害の影響もあり、14回もの補正予算が編成され、予算規模では411億7000万円余りと、新市施行後最大規模となりました。

災害の復旧・復興関連経費の財源不足に対応するため、財政調整基金を取り崩す等の対応を行った結果、実質収支は4億4000万円近い黒字になりました。

しかし、災害の影響が大きく、実質単年度収支は6億9000万円近い赤字となりましたが、2日間にわたる審査の中で、財政状況は健全な状態を維持しつつ、市民サービスの維持・向上に取り組まれたことを再認識し、この決算に同意すべきと強く感じました。

賛成

反対

決算審査の中で、職員の削減と6つの総合事務所体制の見直しが見られました。今でも、地域の衰退が激しいのに、総合事務所が統合されれば、地域は崩壊してしまいます。地域振興のために総合事務所・支所が核になるよう強化することこそが求められています。それが出来なければ、この合併は世紀の大失敗ということになるでしょう。

災害対策に迅速に対応されたことは評価しますが、市民への正確な情報の不徹底や、きめ細かさ、配慮が不十分な実態がありました。市民の暮らしに寄りそえるものがありました。

歳入では、税収がマイナスになり、萩市はいまだに不景気が続いていることを示しています。

歳出では、農業関係で、法人化優先の姿勢があり、個人農家への支援が少なくなっていることから、バランスを取ることが求められます。

○人権擁護委員

松原 邦浩 (まつばら くにひろ) 氏 (萩市大井市場)

竹田 修子 (たけだ のぶこ) 氏 (萩市新川南の3)

を推薦することに同意しました。

新しい委員が 決まりました



田万川
地域

交通安全キャンペーン



川上
地域

カヌー教室



萩
地域

萩市消防操法大会



須佐
地域

須佐地区敬老会



むつみ
地域

むつみ敬老祝賀会



旭
地域

佐々並小稲刈り



福栄
地域

交通安全啓発セミナー

議員控室

萩の活火山

かつて死火山と言われていた越ヶ浜の笠山も分類上は「活火山」である。そう聞くと、枕を高くして寝られなくなる。

先月の27日、御嶽山が突然噴火して多くの尊い命が奪われた。この憤りを何処にぶつけなければよいのだろうか。

今は静かにしているが突然牙をむいて私達をのみこんでしまうかもしれない笠山よ、このまま静かにしていてほしい。

火山は一瞬にして、私達を奈落の底に陥れる怖さも持っているが、一方で恩恵も授かっている、阿武火山群が作りあげた土壌は美味しい農作物を生み出している。

笠山にも椿群生林が広がり、一年に一度椿の花が咲き誇る大変すばらしい景観をもたらしてくれる。私達は、自然の脅威に驚くものその恩恵も享受していきたい。市民の皆さん、行楽シーズンには自然豊かな笠山に一度足をはこんでみませんか…。

石飛 孝道

●表紙の説明
世界遺産の登録を目指す5つの構成資産です。9月29日、ユネスコによる現地調査が行われましたが、全ての資産が登録されるよう、萩市全体で盛り上げていきましょう。

編集後記

今回の定例会では、21人の議員が登壇して一般質問を行いました。

活発な議論が行われるということ、すばらしいことだと思います。

また、議長からの諮問を受け発足した「議会の構成・運営に関する研究会」においても2つの分科会の中で、真剣な議論が行われています。

議員一人ひとりの力で市民に、より信頼される議会を作っていきます。

議会だより編集委員会
委員長 西中 忍
副委員長 佐々木公恵
委員 石飛 孝道

大久 勲
小池 太一
小林 正史
関 伸久
美原 喜大
森田 哲弘